**【看護職員の負担軽減及び処遇の改善計画】**

公立種子島病院では、看護職員の負担軽減及び処遇改善のため下記の項目について継続的に取り組みを行います。

1. 看護職員の負担軽減及び処遇の改善に資する体制
2. 看護職員の負担軽減及び処遇の改善に関する責任者

病院長：野田　一成

1. 看護職員の勤務時間の管理

勤務時間：・週平均４０時間以内

　　　　　・連続勤務5日以内

　　　　　・勤務状況、有給取得率、時間外業務の把握、指導

夜勤勤務：・明けの翌日は原則休み

　　　　　・夜勤平均回数5回以内／月

1. 多職種からなる役割分担推進のための委員会及び会議

看護職員の負担軽減に関する委員会（1回／年、必要時随時実施）

1. 看護職員の負担軽減及び処遇の改善に資する計画

年に１回の見直し、職員への周知（部署内掲示）

1. 看護職員の負担軽減及び処遇の改善に関する取り組みの公開（院内に掲示）
2. 看護職員の負担軽減及び処遇の改善のための取り組み計画
3. 多職種連携

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 部署 | 項目 | 取り組み | 評価修正（1回／年）（必要時随時実施） |
| リハビリテーション | 患者の送迎トイレ、嚥下評価支援リハビリ介入時間提示ポジショニング支援 | ﾘﾊﾋﾞﾘ時の患者の送迎を行う。トイレ動作や嚥下の訓練を日常生活で行う。日々の介入時間を病棟に提示する。良肢位、除圧体位の提案を行う日常生活動作評価支援依頼に対応する。 | 看護師と連携し実施している。継続実施 |
| 臨床検査科 | 検体準備と配布ベッドサイドでの検査 | 予定検体検査の準備移動困難患者の検査をベッドサイドで実施 | 鼻咽頭検体採取の実施を検討 |
| 診療放射線科 | 患者移送の介助検査の介助 | 放射線科職員が送迎を介助する。検査の準備、介助、事後処置の補助を行う（造影剤投与、透視下検査など） | 看護師と連携し実施できる体制の継続 |
| 薬剤部 | 病棟業務の拡大持参薬管理薬剤処方箋監査 | 処方箋管理、医師との連携配薬カート内薬剤セッティングミキシング業務持参薬の管理、カルテ入力、管理入外処方薬の院内監査、医師確認 | 処方薬管理、配薬カートセッティング、ミキシング業務、持参薬管理、カルテ入力、院外処方薬監査、実施中。体制の維持継続 |

　（２）業務環境、処遇の改善

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 妊娠、子育て中の職員への配慮 | ・病後児保育の運用・夜勤免除、削滅・時短勤務、育児休暇延長制度など・子の看護休暇制度 | ・実施済み・実施済み・実施済み・制度あり |
| 看護補助者配置数 | ・病棟の夜間看護補助者配置 | ・実施済み・新規採用募集 |
| 休暇取得の促進 | ・有給休暇取得８０％を平等に取得できるよう勤務表作成・時間休で有給取得出来る制度 | ・希望に添う形で実施されている・制度あり |
| 配慮した勤務表作成 | ・明けの翌日は原則休み・原則連側勤務5日までとする・病棟3人夜勤体制・業務に必要な研修、院内活動、行事の勤務扱い・規定休暇の取得 | ・実施済み・実施済み・実施済み・実施済み・実施済み |
| 多様な勤務形態採用 | ・時短勤務、夜勤免除の導入 | 実施済み |
| 看護職員の適切配置 | ・法令人員数より余剰を持っての配置数とする・看護職員の積極的な募集活動、採用活用 | 今後もハローワークの登録継続、ホームページでの募集、紹介による人員確保 |